

請 願 文 書 表

( 2 4 年 1 2 月 定 例 会 )

| 受理<br>番号 | 受理月日   | 件 名   | 請 願 者  | 紹 介 議 員                        | 要 旨  | 所管委員会         |
|----------|--------|---|--|--------------------------------|--|---------------|
| 4        | 11月30日 | 「ものづくり中小企業」の振興のため、地域の高等学校における工業系学科(コース)の設置に向けて、積極的な取り組みを求める請願 | 亀岡市余部町宝久保1-1<br>亀岡商工会議所<br>会頭 渡辺 裕文<br>亀岡商工会議所工業委員会<br>委員長 福井 正晴 | 西口 純生<br>湊 泰孝<br>馬場 隆<br>日高 省子 | <p>(請願の要旨)</p> <p>「ものづくり中小企業」の振興のためには、優秀な若い人材の確保が大きな課題であり、亀岡市及び亀岡市教育委員会は、地域の高等学校における工業系学科(コース)の設置に向けて、小中学校でのものづくり教育や、就業体験の充実、企業との連携などを通じて環境整備を図るとともに、京都府及び京都府教育委員会に働きかけるなど、その実現のための積極的な取り組みを進めること。</p> <p>(請願の理由)</p> <p>日本のものづくり産業は、空洞化、円高、世界経済の低迷等極めて厳しい状況に置かれております。そのような中で、亀岡市の経済、雇用の多くの部分を支えている「ものづくり中小企業」にとっては、優秀な若い人材の確保が大きな課題となっております。なかでも工業系の高等学校卒業生の採用は厳しい状況にあります。</p> <p>南丹地域の高等学校には、工業系の学科(コース)さえありません。</p> <p>京都北部地域や京都市域、企業によっては他府県からの採用さえ行わざるを得ない状況にあります。</p> <p>他方、中学生が工業高校に入学する場合は、福知山市や京都市にあります学校を選択せざるを得なくなり、保護者の負担も多額に上ります。</p> <p>普通科志向の時代的な風潮はあります。これは「ものづくり」の面白さ、ものづくり中小企業の実態が知られていないことも一つの要因です。小中学校時代から工作や就業体験を通じて、「ものづくり」に接する機会が増えれば、工業系の高等学校に興味を持ち、入学する中学生は確実に増えると思われます。</p> <p>そのためには、亀岡市関係部局と亀岡市教育委員会の連携した取り組みが大切です。最近の工業系の高等学校の就職率は高く、また、工業系の大学への進学率も上がっております。</p> | 産業建設<br>常任委員会 |

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  | <p>地元の中学生にさまざまな選択肢を提供する環境整備を行うことが、亀岡市の責務でもあり、また、亀岡市教育委員会の責務だと考えます。</p> <p>これからの社会は、地域で人材を育てることが大切だと言われております。地域には、多くのものづくり企業があります。インターンシップや実習などを行える条件に恵まれております。</p> <p>是非、地域の「ものづくり中小企業」の振興のため、南丹地域の高等学校に工業系学科(コース)の設置をしていただきますよう、京都府及び京都府教育委員会に対して、亀岡市及び亀岡市教育委員会が働きかけをいただき、実現に向けての意見書を提出していただくなど、ご尽力いただきますようお願いいたします。</p> <p>地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。</p> |  |
|--|--|--|--|--|--|